

令和7年度 公益財団法人鍋島報効会

研究助成 募集

応募締切：令和6年12月25日(必着)

鍋島報効会では、歴史や文化、自然・社会など幅広い分野の「佐賀」に関する研究に対し公募型の助成を行っています。

佐賀鍋島伝承遺産顕彰会 支援 特別研究助成

高校生以上、39歳以下(グループ研究可)／上限30万円
当会の援助団体である「佐賀鍋島伝承遺産顕彰会」の設立趣旨に基づき、鍋島家に関わる佐賀の研究(歴史・美術・考古・民俗等)に対し助成します。

一般研究助成

高校生以上、39歳以下(グループ研究可)／上限20万円
佐賀に関連する研究に対し助成します。分野は、人文科学(歴史・文学・社会科学等)及び自然科学(科学技術・生物・植物・鉱物等)の幅広い分野を対象とします。

青少年活動助成

県内の小学校～大学に通う児童・生徒・学生／上限20万円
佐賀県内で行われる、研究行為に準ずる探究的な活動に対し助成します。学校内外いずれにおける活動も対象に含みます。

申請方法など詳しくは当財団HPをご確認ください



公益財団法人鍋島報効会(徴古館)

〒840-0831 佐賀市松原2丁目5-22

☎0952-23-4200 ✉info@nabeshima.or.jp

🌐URL <https://www.nabeshima.or.jp/main/512.html>



鍋島報効会では佐賀の歴史や文化、自然環境、社会活動などについて、よりよき研究を深め、その成果を県民の方々に啓蒙・普及していくことが、郷土の学術の振興及び文化の充実・発展に寄与するものと考え、研究助成事業を行っています。この助成が、若い世代の方々にとってこれから研究を志す上での糧となること、また将来を担う子どもたちが郷土に目を向け知的探求心を育むことを期待し、これを広く一般公募するものです。

特別研究助成・一般研究助成 テーマ事例

学生や若手研究者の支援を目的とし、平成13年度より助成を行っています。研究の成果は、翌年度に開催する研究報告会にてご報告いただくとともに、報告書(当財団発行・web公開)に論文を掲載いたします。

【特別研究助成(佐賀鍋島伝承遺産顕彰会支援)】※令和6年度より新設
・「二つの梨子地九曜紋松橘蒔絵角赤手箱について
— 鍋島報効会本と大阪市立美術館本の図様分析を中心に—」(令和6年度)

【一般研究助成】

(歴史)

・「佐賀における衆議院議員総選挙と地域社会」(令和5年度)
・「佐賀藩士深江氏旧蔵文書の復元による「家意識」の検討」(令和3年度)

(美術・工芸)

・「柿右衛門窯の御用注文品について」(令和4年度)

(考古)

・「古代松浦郡の成立過程に関する考古学的再検討」(令和6年度)



令和5年度研究者による報告会の様子

青少年活動助成 テーマ事例

青少年活動助成(旧「探究活動コース」)は若い世代や子供たちに、より一層郷土へ目を向けてもらえるよう令和4年度に新設しました。

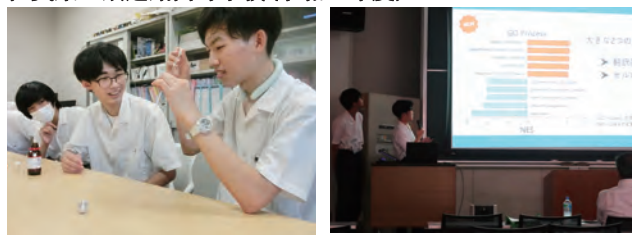
佐賀市立川副中学校(令和6年度)



佐賀市立川副町 戸ヶ里漁港の清掃活動や、避難所運営を模擬体験するカードゲーム「避難所HUG」の体験会の様子

川副中学校では、学年ごとにテーマを設定し、生徒ひとりひとりが主体性をもってSDGsの学習や地域活動に取り組まれています。令和6年度は講演会費や図書購入費、生徒作成のSDGs関連冊子印刷費などに対して助成しました。

佐賀県立致遠館高等学校(令和6年度)



佐賀大学総合分析実験センターでの実験(試料の処理)や、令和6年8月の全国高等学校総合文化祭での発表の様子

佐賀県立致遠館高等学校科学部では、佐賀県の農業の負担軽減のために新しい農薬の開発に取り組まれています。令和6年度は、研究に必要な試薬や器具などの消耗品費に対して助成しました。

申請書の提出・お問合せ先



公益財団法人鍋島報効会(徴古館)

〒840-0831 佐賀市松原2丁目5-22

☎0952-23-4200 ✉info@nabeshima.or.jp

🌐URL <https://www.nabeshima.or.jp/main/512.html>

